

奈良市で回収された死亡野鳥(カラス)の鳥インフルエンザ検査結果は、陰性でした。

先日、5月17日(火)、奈良市でカラスの死亡個体が回収され、鳥インフルエンザの簡易検査で陽性反応を確認しましたが、確定検査として鳥取大学で遺伝子検査を実施した結果、ウイルスは検出されませんでした。→ 鳥インフルエンザは陰性でした。

今回の死亡野鳥は、陰性でしたが、まだ5月はリスクの高いシーズンです。発生予防対策強化を引き続きお願いします。異状があれば通報してください。

- 同一の家きん舎内において、1日の家きんの死亡率が最近の21日間の平均死亡率の2倍以上となった場合
- 5羽以上の家きんがまとまって死亡している場合
- 複数の鶏の「とさか」などが青っぽくなり、元気がなく、産卵率が低下

消石灰の定期的な散布、農場出入口での消毒の徹底、家きん舎ごと専用の靴の設置および使用、野生動物の農場への侵入防止(ネット等の設置・点検および修繕)、家きんの飲み水の適切な消毒・ねずみ及び害虫の駆除等、飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、より慎重な健康観察をお願いします。

家畜保健衛生所業務第一課 0743-59-1700

家畜保健衛生所業務第二課 0745-62-2440

※ つながらなければ、県庁守衛室(0742-22-1001)をお願いします